

## 第6次城北地区地域福祉活動計画(案)

### ■ 計画の趣旨

この計画は、城北地区で実施されている様々な地域福祉活動を五か年ごとに見直し、地域における福祉課題に対して、さらなる次の5か年の活動方針を策定するものです。今回は第6次(令和6年度～10年度)の計画となり、今後の城北地区の地域福祉推進に向けてとても大切な計画です。

### ■ 計画の背景

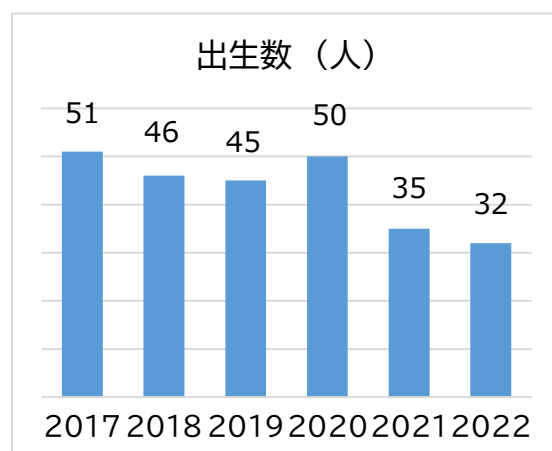
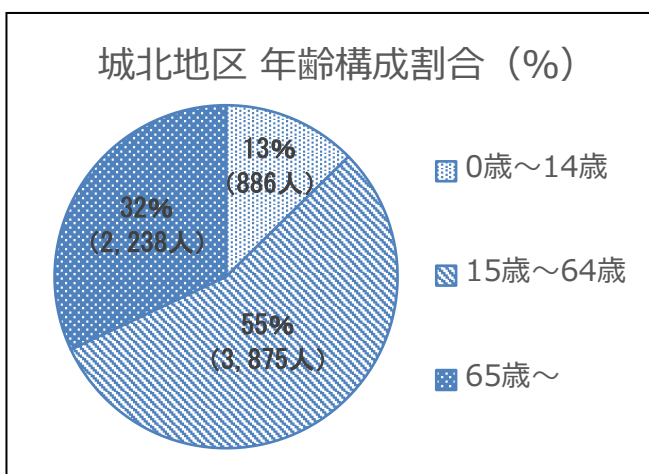
#### 【城北地区の成り立ち】

市の中心部に位置し、藩政時代から続く地域、その後、外延的に市街を形成した地域、さらに昭和40年代以降に住宅団地として開発された地域に分かれています。平成12年度には、隣接する地区から3自治会が、さらに平成13年度には3自治会が編入され、現在では22の町内会・自治会で構成されています。

#### 【数字で見る健康・福祉】 ※松江市と城北地区の状況から抜粋

2023.3.31 現在

	人口(人)	65歳以上人口(人)	高齢化率	65歳以上のみの世帯	
				世帯数	うち独居
松江市	196,748	59,795	30.4%	28,953	17,196
城北地区	6,999	2,238	32.0%	1,155	681



- ・人口、世帯数と構成、年齢構成は大きな変化なく推移しています。
- ・高齢者世帯のうち、約6割は独居世帯です。

## ■ 計画の主題(テーマ)

「未来につながる共生のまちづくり」

主題(テーマ)は、この計画の目指すべき方向性を端的な言葉で表現するものです。コロナ禍で停滞した活動を再びコロナ前の水準に戻すとともに、現状における課題に対応しつつ、それぞれの活動を将来にわたって継続的・安定的・発展的に実施し、持続可能な活動の展開を目指すという思いを上記の言葉で表すこととしました。

## ■ 計画の指針(コンセプト)

### I 共生のまちづくり

- ・活動の目的である「共生社会の実現」の実効性を高めていくこと

### II 参画・理解の機運づくり

- ・活動への住民の参画、理解・協力の機運を醸成していくこと

### III 活動を支える基盤づくり

- ・活動の拠点や財源などの確保を図っていくこと

指針(コンセプト)は、主題(テーマ)を実現するための方向性を示すものです。これらが一体となって初めて持続可能な地域福祉活動の展開が可能になるとの考え方から上記の三つを指針としました。

## ■ 計画の策定(プロセス)

### 【第6次城北地区地域活動計画策定委員会】

計画の策定に当たっては、活動主体者、福祉関係者などで構成する「策定委員会」(13名)を設置し、委員会内部のワーキングチーム(6名)で検討した素案をもとに数次にわたる協議を経て、原案を策定しました。

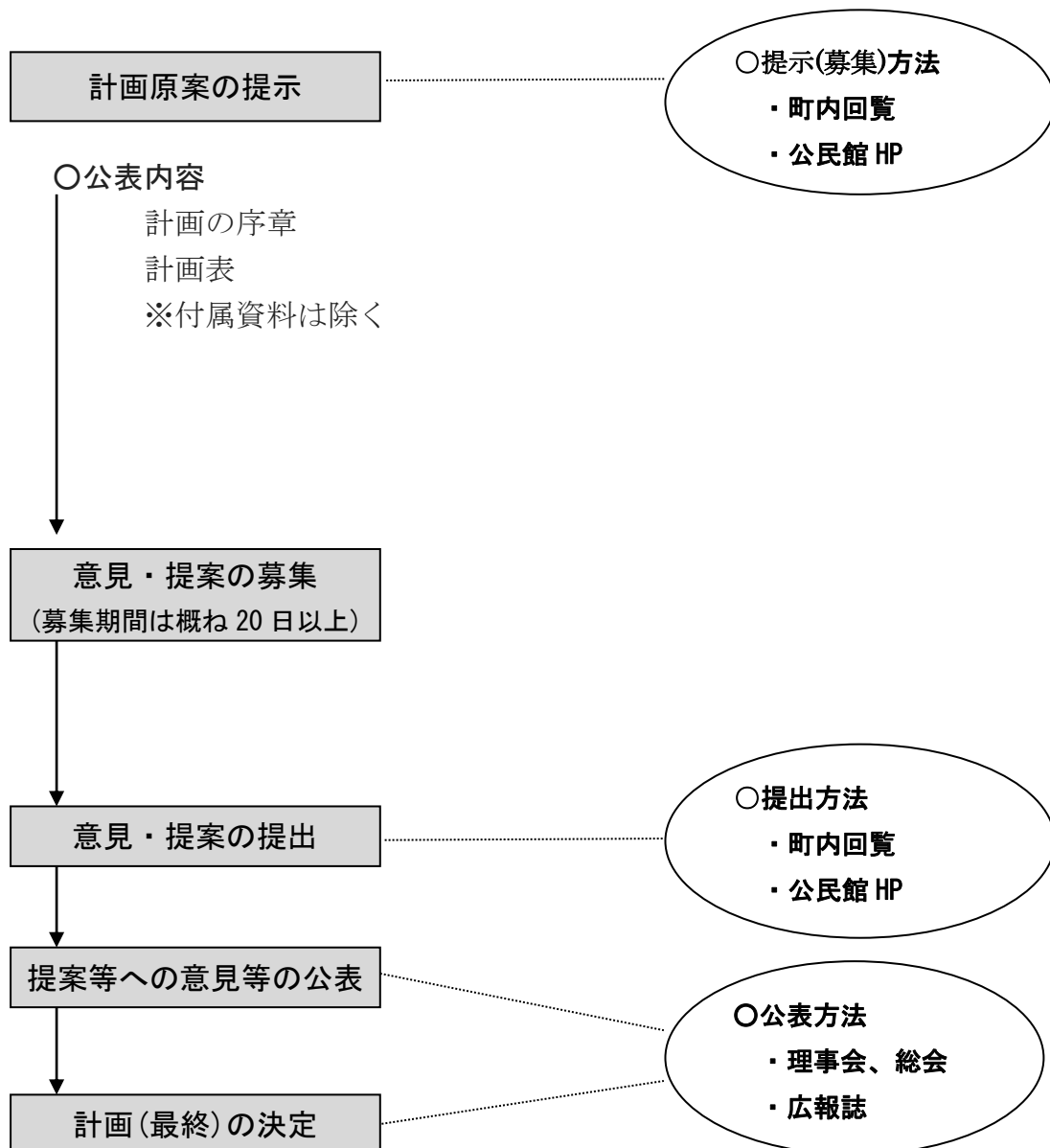
## 【活動団体との意見交換】

城北地区内で活動する各団体との意見交換の場を設け、「現状と課題」、「今後の取り組み方針」等について意見交換を行い、計画に盛り込む事項の整理や現時点でも可能な取り組み（改良、変更等）について話し合いを行いました。

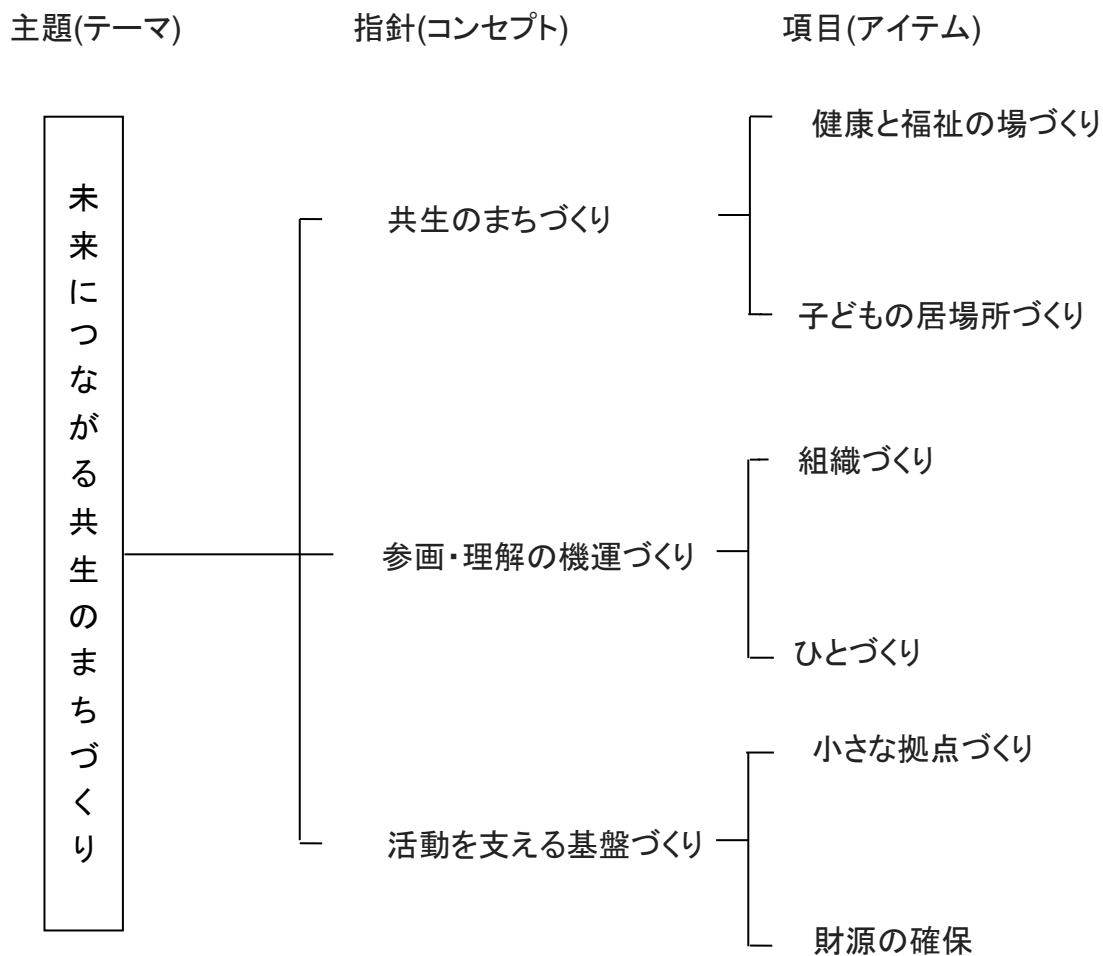
## 【パブリックコメント制度(意見公募)】

「第6次城北地区地域福祉活動計画」を原案の時点で広く城北地区にお住まいの皆さんに提示し、原案に対する意見公募を行い、寄せられた意見や提言などを踏まえ、必要に応じた加筆、修正などを行い、最終的な計画策定を行いました。

### 制度のフロー図



## ■ 計画の体系図



## ■ 第6次城北地区地域福祉活動計画書 (計画表)

別紙のとおり

## ■ 計画の進行管理及び新たな課題への対応方

計画の進行管理はもとより、計画期間内に生ずる新たな地域福祉の課題に機動的に対応していくことが必要です。

このため、前述の第6次城北地区地域福祉活動策定委員会のワーキングチーム(6名)を策定後も存置し、「ともに支える城北の会」(再編予定)とも連携しながら課題の解決に当たることとしています。